

(4)教務関係

1) 授業科目と単位について

学修の手引き

1. 指導教授

専攻の主科目を担当する教授を指導教授とし、本大学院における学生の学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）にあたる。

2. 教育方法

本大学院における教育は、授業科目の授業及び研究指導によって行う。

3. 授業科目

研究科における授業科目については別頁のとおり。

4. 履修方法

①学生は、指導教授の指導を受けて履修しようとする授業科目を選定し、指導教授の承認を経て所定の期日までに申告しなければならない。

②履修すべき単位は下記の組み合わせによるものとする。

【修士課程】 32 単位以上

1) 専門科目

- | | |
|--------------------|-------------|
| イ 主科目（指導教授が担当する科目） | 1 科目 2 単位 |
| ロ 副科目（主科目以外の科目） | 1 科目 2 単位以上 |

2) 共通教育科目（その他の分野）

- | | |
|--|-------------|
| イ 臨床医科学分野（ただし、出身分野及び専攻分野によって必修を指定しないこともある） | |
| 内科系医科学汎論又は外科系医科学汎論 | 1 科目 4 単位 |
| ロ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） | 1 科目 2 単位 |
| ハ 医療人間科学（以下の科目から選択） | 1 科目 2 単位以上 |
| 医療倫理学 | 国際医療環境学 |
| 医事法学 | 臨床心理学概論 |
| 医療福祉学 | 医療カウンセリング学 |
| 医療管理学 | 心理評価・解析学 |
| 国際保健学 | ヘルスケアビジネス |

3) 特別講義 [選択科目] 2 単位

4) 演習 4 単位

5) 特別研究 10 単位

ただし、医学物理士養成コース、臨床心理学コースにあつては、次の組み合わせにより履修するものとする。

〔医学物理士養成コース〕 34 単位以上

1) 専門科目

イ 必修科目 5科目9単位

放射線医学物理学
放射線医学物理学特論
放射線臨床実習（がん治療）
量子原子核物理学
計算物理数学

ロ 主科目及び副科目 2科目3単位以上

ただし、次の科目の中から 2科目3単位以上 を選択必修とする。
放射線腫瘍学 先端放射線治療技術、放射線臨床実習（がん診断）、
人体解剖学（理工系学部出身者のみ）

2) 共通教育科目（その他の分野）

イ 臨床医科学分野（ただし、出身分野及び専攻分野によって必修を指定しないこともある。）

内科系医科学汎論又は外科系医科学汎論 1科目4単位

ロ 医学研究倫理学 1科目2単位

ハ 医療人間科学（以下の科目から選択） 1科目2単位以上

医療倫理学	国際医療環境学
医事法学	臨床心理学概論
医療福祉学	医療カウンセリング学
医療管理学	心理評価・解析学
国際保健学	ヘルスケアビジネス

3) 特別講義〔選択科目〕 2単位

4) 演習 4単位

5) 特別研究 10単位

〔臨床心理学コース〕 53 単位以上

1) 専門科目

主科目及び副科目(主科目以外の授業科目)

ただし、次の必修科目から 11科目20単位、選択必修科目各群からそれぞれ2単位以上、計10単位以上、合計30単位以上を履修するものとする。

① 必修科目 11科目20単位

臨床心理学特論Ⅰ、臨床心理学特論Ⅱ、臨床心理面接特論Ⅰ（心理支援に関する理論と実践）、臨床心理面接特論Ⅱ、臨床心理査定演習Ⅰ（心理的アセスメントに関する理論と実践）、臨床心理査定演習Ⅱ、臨床心理基礎実習Ⅰ、臨床心理基礎実習Ⅱ、産業精神保健学（産業・労働分野に関する理論と支援の展開）
教育分野に関する理論と支援の展開、心の健康教育に関する理論と実践

- ②選択必修科目A群 1科目2単位以上
心理学研究法、心理評価・解析学※1、心理統計学
 - ③選択必修科目B群 1科目2単位以上
人格心理学、発達精神医学※2
 - ④選択必修科目C群 1科目2単位以上
家族心理学（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）、
犯罪・矯正心理学（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）
 - ⑤選択必修科目D群 1科目2単位以上
臨床精神医学（保健医療分野に関する理論と支援の展開）、医療心理学※2、
障害者心理学（福祉分野に関する理論と支援の展開）
 - ⑥選択必修科目E群 1科目2単位以上
投影法（ロールシャッハテスト中心）、心理療法Ⅰ（精神分析的な心理療法）、
心理療法Ⅱ（来談者中心療法・学校教育相談）
 - 2) 共通教育科目（その他の分野）
 - イ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） 1科目2単位
 - ロ 特別講義 2単位（選択科目）
 - 3) 臨床心理実習Ⅰ（心理実践実習）、臨床心理実習Ⅱ 2科目11単位
 - 4) 特別研究 10単位
- ※1：専攻分野が（その他の分野）医療人間科学の授業科目
 ※2：専攻分野が医療人間科学の授業科目
 ※3：（その他の分野）医療人間科学、臨床医科学の授業科目は自由科目とする

【博士課程】32単位以上

- 1) 専門科目
 - イ 主科目（指導教授が担当する科目） 1科目2単位
 - ロ 副科目（主科目以外の科目） 1科目2単位以上
- 2) 共通教育科目
 - イ 医学研究倫理学（原則として1年次に履修） 1科目2単位
 - ロ 医療人間科学（以下の科目から選択） 1科目2単位以上
 - 医療倫理学 国際医療環境学
 - 医事法学 臨床心理学概論
 - 医療福祉学 医療カウンセリング学
 - 医療管理学 心理評価・解析学
 - 国際保健学 医療・医学教育学
 - ヘルスケアビジネス
- 3) 特別講義 2単位又は4単位
- 4) 演習（臨床医科学群以外の学群） 6単位
- 5) 実習（臨床医科学群のみ） 8単位
- 6) 特別研究 12単位

ただし、2) 共通教育科目については、修士課程時に履修した科目を再度履修する事は出来ない。

がん個別化医療専門医養成コース【2018～2022年度入学者】※2024年度以降募集停止

がん個別化医療専門医養成コースにあつては、次の組み合わせにより履修するものとする。

1) 専門科目

- イ 基礎腫瘍学、臨床腫瘍学（主科目） 2科目 4単位
 - ロ 主科目以外の授業科目（副科目） 1科目 2単位以上
- ただし、臨床遺伝医学を必修とする。

2) 共通教育科目

- イ 医学研究倫理学 1科目 2単位（原則として1年次に履修）
 - ロ 医療人間科学分野から 1科目 2単位以上
 - ハ 特別講義 2単位又は4単位
- 3) 演習（臨床医科学分野を除く） 6単位
- 4) 実習（臨床医科学分野のみ） 8単位
- 5) 特別研究 1 2単位

2015（平成27）年度以前入学者

【博士課程】30単位以上

1) 専門科目

- イ 主科目（指導教授が担当する科目） 1科目 2単位
- ロ 副科目（主科目以外の科目） 1科目 2単位以上

2) 共通教育科目

- イ 医療人間科学（以下の科目から選択） 1科目 2単位以上
 - 医療倫理学 国際医療環境学
 - 医事法学 臨床心理学概論
 - 医療福祉学 医療カウンセリング学
 - 医療管理学 心理評価・解析学
 - 国際保健学 医学研究倫理学
 - 医療・医学教育学 ヘルスケアビジネス

- 3) 特別講義 2単位又は4単位
- 4) 実習（臨床医科学群のみ） 8単位
- 5) 演習（その他の学群） 6単位
- 6) 特別研究 1 2単位

ただし、2) 共通教育科目については、修士課程時に履修した科目を再度履修する事は出来ない。

5. 単位の認定

授業科目を履修し当該授業科目の試験に合格した者には、研究科の定めるところにより所定の単位を与える。

6. 試験及び成績の評価

履修した授業科目の試験は所定の期間内に行う。ただし、平常の成績をもって試験の成績に代えることがある。

試験の成績は優・良・可・不可の4種をもって表し、優・良・可を合格とし、不可を不合格とする。

7. 修了要件

【修士課程】2年以上在学し、32単位以上（医学物理士養成コースは34単位以上、臨床心理学コースは53単位以上）を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、研究科の行う修士論文の審査及び最終試験に合格すること。

【博士課程】4年以上在学し、32単位以上*を修得し、かつ、必要な研究指導を受けたうえ、研究科の行う博士論文の審査及び最終試験に合格すること。

*2015（平成27）年度以前入学者は30単位以上

8. 最終試験

最終試験は、所定の単位を修得し、かつ学位論文の審査に合格した者について行う。最終試験に関し、必要な事項は別に定める。

9. 学位論文の審査等

学位論文の審査その他学位に関する必要な事項は、別に定める北里大学学位規程による。

※学位申請には、申請前年度までに、「医学研究倫理学」の単位を取得しておく必要があります。

特別講義について

1. 受講について

- ①修士課程：選択科目 博士課程：必修選択とする。
- ②選択する講義内容については、自分の専攻及び課題研究と接点があって、かつ興味のあるものを指導教授と相談のうえ決定すること。
- ③一年毎にテーマを設定し13回講義する【シリーズ】と、指導教授からの申請に基づき研究科で認定する【オムニバス】で構成する。
- ④博士課程は、さらに1クールを受講して4単位まで取得可能とする。
- ⑤特別講義シリーズはオンデマンド方式の遠隔授業とする。
受講方法はHP、受講案内を参照すること。

2. 認定条件

- ①特別講義の単位は、下記の組み合わせで認定する。

例1 シリーズ合格+シリーズ合格

例2 シリーズ合格+オムニバス合格

<注意>

※1シリーズや1オムニバスだけでは単位とならないので注意すること。

※オムニバス合格+オムニバス合格の組み合わせは認められない。

【シリーズ認定基準】

①出席回数が、選択したシリーズの全講義回数の半数以上とする。

※視聴した講義の e-learning 受講レポートの提出を以って出席とする。

②受講した講義の中から、1シリーズ2課題の単位認定レポートを提出すること。

③①の条件を満たし、かつ提出レポートがすべて合格した場合シリーズが合格となる。

【オムニバス認定基準】

④在学期間中に合計8回出席し、2課題のレポートを提出して何れも合格すること。

出席については、指定の出席表に、講演会等を実施する世話人等より印鑑またはサインを受領すること、または視聴した講義の e-learning 受講レポートの提出を以って出席とする。

3. レポートについて

1) 単位認定用レポート

(書き方) ①「レポートタイトル」、「講義課題名と講義日」、「担当教員」および「学籍番号と氏名・所属特論科目名」を必ず表紙に記入すること。

②学術論文の書式であれば、自由な書き方で良い。

③読みやすい日本語（英語でも可）で記述すること。

④ワープロを用いて作成すること。

⑤用紙サイズはA4を用いて、枚数は制限しない。

(内 容) ①論理の展開や学術性（説得力）などを評価するので論文形式で記述すること。
(何をどのようにまとめるかの筋書を明確にする)

②講義内容の単なる感想文的なまとめ方ではなく、講義内容を基礎にさらに最新の研究情報を加えて学術性の高いレポートにまとめること。

③別項目を設けて講義内容に対する自分の科学的興味について述べること。

④レポートの課題として選んだ「理由」と自分の「研究課題との関係」を示すこと。

⑤自分の「研究課題の今後展開」について担当教員に意見を求めることも良い。

(評 価) ①レポート内容の論理的展開、説得力および学術性などを評価する。

(提 出) ①講義日から2週間以内に医療系研究科事務室に提出すること。

②提出方法は別途通知する。

2) e-learning 受講レポート

①インターネットを使用して特別講義を受講した場合、e-learning 受講レポートの提出を以って出席と数える。

②所定用紙（ホームページからダウンロード）を使用し、提出方法は別途通知する。

③当該年度における最終講義のレポート提出締切は出席表の提出日とする。

④単位認定用レポートを提出する場合、e-learning 受講レポートと両方提出すること。
内容は単位認定用レポートと同一でも可。

4. e-learning 受講について

講義内容に関する質問は、電子メールで受付けます。

以下のアドレスに、学籍番号、氏名、講義回数、講義名と質問内容を記入し、送信してください。

【特別講義 質問受付 e-mail アドレス】

i-kyomu@kitasato-u.ac.jp

※学外研修者は研修先において「特別講義」に該当するものが開催されている場合には、出席の上、下記のものをもって振り替えることができる。

1. プログラム及び研修先指導者の受講証明書（様式任意）及びレポートを講義日から **2週間以内**に医療系研究科事務室に提出する。
2. その他の取り扱いについては前頁の基本方針に準ずる。

※上記取り扱いにおいて、問題点が生じた場合にはその都度対応することとする。